



みかんぐみだより

2021年度 2月号
尚徳福祉会 おぐら保育園

1年で一番寒い2月に入り、冷たい風の吹く毎日です。子どもたちは風にも負けず園庭からは元気な声が聞こえてきます。みかん組での生活もあと2か月。健康管理には十分留意しながら、進級に向けて充実した思い出の多い日々をしたいと思います。



☆お散歩☆

散歩に行くことがわかると、友だちを誘って手を繋ぎ門の所に自然と集まる子どもたち。以前は『散歩車に乗りたい』とアピールしていましたが、今では、ほとんどの子が友だちと手を繋いで公園まで歩くことができます。公園では、架空敵？を見つけると子どもたちが集まり『やっつけてやる』と戦っている姿が見られました。また、固定遊具についている踏み台をパソコンやピアノに見立てて『ピ・ピ・パ・ピ』と尝试してみたり『どんぐりコロコロ〜♪』と演奏会が始まったりと楽しんでいました。散歩から帰ってくると『たのしかった』という声も聞こえてきました。

☆制作☆

【福笑い】を作りました。
予め顔の輪郭のみ描いてある色画用紙に、まゆげ、目、口、鼻のパーツを糊で貼っていきましました。保育者が準備していると、すでにやる気満々で、お友だちが制作している時も『やりたいやりたい』ともうアピールをしていました。自分の順番になると、恐る恐る指先に糊をつける子、顔のパーツを『どこにつけるのー？』と確認する子と反応が様々でした。福笑いが完成すると『できたー』と保育室に飾り、お迎えにいらした保護者に『みてみてー』と作品を紹介していました。



☆雪遊び☆

雪が降っている様子を窓から見て『ゆきだー』と大喜びの子どもたち。翌日、園庭に出るといつもと違う園庭に驚いていましたが、雪を踏んでいく『ググググ』という音に大興奮でした。初めての雪体験の子が多く、雪を触ると『つめたーい』と言いながらも手に持ちながら眺めていました。保育者に『エイッ』と雪を投げてみたり、バケツの中に雪を集めたりと楽しんでいました。しばらくすると『手が冷たい。もうお部屋帰る』という子が多く見られ、保育室に戻り温まりますが、雪が気になるようで窓から園庭の様子を眺めていました。

☆どんなお部屋かな？☆

4月には【もも組】に進級ですね。
もも組での生活に少しずつ慣れるために、皆で、もも組のお部屋に遊びに行きました。いつもと違う周りの様子に驚く様子は見られましたが、すぐに目新しい玩具を見つけて、周りの様子を気にしながらも遊び始めていました。お部屋に戻る時間になると『もっとあそびたーい』と一言。玩具を借りてお部屋に戻りました。これからも度々遊びに行き、もも組になる日を心待ちにしたいと思います。